

南京大学 2007 年攻读硕士学位研究生入学考试试题(三小时)

考试科目名称及代码 基础日语 657

适用专业: 日语语言文学

注意:

1. 所有答案必须写在研究生入学考试答题纸上, 写在试卷和其他纸上无效;
2. 本科目 ~~允许~~ / 不允许使用 ~~无字典存储和编程功能的~~ 计算器。

一、次の文の下線をつけた漢字に振り仮名をつけなさい。(10点)

1. 昨今は景気がよくないので、スーパーなどでは経費削減を図って客に買い物袋を持参するように呼びかけている。
2. 智に働けば魚が立つ。情に掉させば流れる。意地を通せば窮屈だ。
3. 踊り子が玄関の板敷で踊るのを、私は梯子段の中途に腰を下して一心に見ていた。
4. 踊り子と間近に向かい合ったので、私はあわてて袂から煙草を取り出した。
5. 髪を豊かに誇張して描いた稗史的な娘の絵姿のような感じだった。
6. 雨に洗われた秋の夜が冴え冴えと明るんだ。跣で湯殿を抜け出して行ったって、どうともできないのだと思った。
7. 秋も晩秋になると、ゴトンと雨戸が夜中に不気味な音を立てたりして心細くなる。
8. 大人たちの批判の多くは悔恨と羨望と嫉妬の混じり合ったものが多い。
9. 返事がまたかと苛立ち、悩ましい日々を送っている。
10. 昔の旅人が、かつての歌人の面影とその作品を偲んで異郷の地に彷徨い出ていったのです。

二、次の文下線をつけた言葉はどのような漢字を書くのか、その漢字を書きなさい(10点)

1. かいしゅうしたアンケートのぶんせきには、コンピューターが威力をはつきする。
2. 製品のかかくをいじするためにけいやくを結んだ。
3. 父は必死に努力してしゃっきんを返済し、店の経営をきどうに乗せた。
4. 人にごかいされるようなぶれいな言動は謹んだ方がいい。

三、次の文の()の部分に入れるのもっとも適当な言葉を1、2、3、4から一つ選びなさい(10点)。

- (1) 電車の中で突然気分が悪くなったが、親切な人が()してくれた。
1、救済 2、養護 3、介抱 4、奨励
- (2) () 数の貝殻が、遺跡から発掘された。
1、はなばなしい 2、おびただしい 3、やかましい 4、なやましい
- (3) 田中さんの迫力に()されて、思わず同意してしまった。
1、抑圧 2、重圧 3、圧倒 4、圧縮
- (4) 計画がうまくいくように、みんなで作戦を()。
1、こめた 2、ねった 3、ほどこした 4、あつらえた
- (5) 話し合いは()終わった。
1、健全に 2、寛容に 3、精巧に 4、円満に
- (6) 道で子供たちが遊んでいたのが、車のスピードを()通り過ぎた。
1、へらして 2、ゆるめて 3、よわめて 4、なくして

- (7) いつもは厳しい先生だが、おもしろい()もあることがわかった。
 1、一見 2、一目 3、一部 4、一面
- (8) 不況の影響で、この地域の中小企業は()倒産した。
 1、いまさら 2、ひたすら 3、のきなみ 4、ひいては
- (9) 建物に入るのにいちいち証明書をみせなければならないので、本当に()。
 1、わずらわしい 2、まちどおしい 3、みすぼらしい 4、はなはだしい
- (10) 事故で電車が止まって遅刻しそうになったが、バスに乗り換えたので、()間に合った。
 1、おのずから 2、かろうじて 3、やむをえず 4、ことによると

四、次の文の___にはどんな言葉を入れたらよいか。1、2、3、4から最も適当なものを一つ選びなさい。(30点)

- (1) 医者は自分で痛みや苦しさを知って___良医となれる。
 1 はじめて 2 はじめで 3 はじめ 4 はじめると
- (2) 大使はほとんどがキャリアである。外交交渉など表舞台の活動には、語学力や専門知識も___、一定の格が求められる、と彼らが考えているからだ。
 1 いれざるをえず 2 あるまじき 3 きることながら 4 わからんがため
- (3) ___が早いか、取っ組み合いの喧嘩だ。
 1 来て 2 来よう 3 来ない 4 来る
- (4) 借金が完済できていなかったため、故郷の両親のもとにはほとんど送金___。
 1 できるじまいだった 2 できたじまいだった
 3 できずじまいだった 4 しないままだった
- (5) 百貨店やスーパーのバレンタイン商戦が始まった。今年は2月14日が日曜日___、義理チョコが減り、代わりに本命チョコの「高級化」が進むとか。ブランド品を増やしたり、手作り用の材料をそろえたりと、一風変わった商戦になりそうだ。
 1 とあって 2 として 3 とあっても 4 とすると
- (6) 勉学の機会は___食事も満足に与えられず、ひたすら厳しい労働を強いられた。
 1 おろか 2 わずか 3 限らず 4 問わず
- (7) どこから___芳香がただよってくる。
 1 ともなく 2 ともない 3 とともに 4 ともあれ
- (8) わざわざ___いただいて恐縮です。
 1 おじやま 2 おこし 3 おあり 4 おいき
- (9) 江戸時代初めには京都などで早くも竹床几の既製品が売られている。涼み___、この上で将棋に興じることを縁台将棋というが、夏の庶民の家具として、昭和初期ごろまでさかんに使われた。
 1 がてら 2 につれて 3 にともなって 4 かたわら
- (10) 日本人は、政治を見ること、あたかも芝居を見る___、観賞はしても、自分自身が役者の一人であり、自ら舞台の上にあることを悟ってはいない。
 1 かとは 2 かなにか 3 がごとく 4 かといって
- (11) 「お受験」塾の経営者の1人は、「少子化で子どもはますます大事にされて、競争は激しくなる___」と言い切る。
 1 ばかりだ 2 ばかりに 3 ばかりか 4 ばかりで

南京大学 2007 年攻读硕士学位研究生入学考试试题(三小时)

考试科目名称及代码 基础日语 657

适用专业: 日语语言文学

- (12) 彼女の息子は、14歳_____背が高かった。
1 にすると 2 にしては 3 にするなら 4 にしてから
- (13) 法案が成立した_____, 実施できなければだめだ。
1 ことに 2 ことさえ 3 ことでは 4 こととて
- (14) 忘れていただろうと_____, 犬は僕を見てうれしそうにしっぽをふった。
1 おもいきや 2 おもうべく 3 おもいがけず 4 おもうだに
- (15) 斎藤さんは散歩_____古本屋に寄ってみた。
1 がらみに 2 かたがた 3 かねて 4 がために
- (16) 見聞きするそば_____忘れてしまう。
1 で 2 から 3 に 4 まで
- (17) 私は50歳で未亡人になり、再婚の話もあったが、まかり間違えば相手の老後の世話を押しつけられる羽目にもなりかねず、再婚の気持ちはまったくなかった。住む家があり、食べていかれるだけの収入があれば、女は1人に_____。
1 こしたことはない 2 こすことはない
3 こしたことではない 4 こすことではない
- (18) 韓国へ進出した日本企業のうち、かなりの数が、1980年代に労使紛争などから撤退を余儀_____。
1 なくしている 2 なくされた 3 なくさせている 4 なくしてもらっている
- (19) 飛行機が大嫌いな作家がいた。あんな重い物が空を飛ぶのは、科学的な理屈_____, きわめて不自然であり危なくて仕方がない、というのである。だから亡くなるまで、彼は日本から一步も外へ出なかった。
1 とすれば 2 ともなれば 3 がゆえに 4 はいざしらず
- (20) まさか! 本当に1千万円の宝くじが当たるなんて、夢に_____見なかった。
1 はず 2 のみ 3 だに 4 だけ
- (21) 悪口を言われ_____, 少しも怒らない。
1 がてら 2 ながら 3 として 4 さえも
- (22) 空一面雲に覆われていて、雨が今にも_____ばかりだった。
1 降り出した 2 降り出す 3 降り出さん 4 降り出そう
- (23) 韓国はサッカーが国技_____, 子供のころからやっている選手が多く、なかなかうまい。
1 ともあって 2 から言って 3 だけあって 4 とは言って
- (24) あの作家は小説を書く時、一字一句_____おろそかにしない。
1 ばかりも 2 だけさえ 3 たりとも 4 とはいえ
- (25) 渡辺さんは横浜の高等女学校で音楽を教える_____, レコード会社に所属していた。
1 なり 2 かたわら 3 ながら 4 つつ
- (26) 価格の安い外国産材の輸入で国産材の価格が低迷しており、森林所有者の間に、手間がかかる間伐を_____森を維持しようという意欲が薄れつつあるという。
1 してまで 2 せずとも 3 させないで 4 されるくらい
- (27) 賃金を上げないからといって雇用を_____。
1 守らないものだ 2 守らないものでもない
3 守れたものだ 4 守れるものでもない

(28) まず、気になるのが、民主主義の根幹を支える報道の自由への影響だ。巨大資本が情報を一手に握ることは、その運用いかんでは、世論をゆがめたり、人々を誘導したりすることにも_____。

- 1 なりかねる 2 なりかねない 3 なりそうもない 4 なりえない

(29) 工場に_____とたん、大音響が襲ってきた。ずらりと並んだ年代ものの鉄の織機が、厚手の布を規則正しく吐き出していく。

- 1 入る 2 入るか 3 入った 4 入ろう

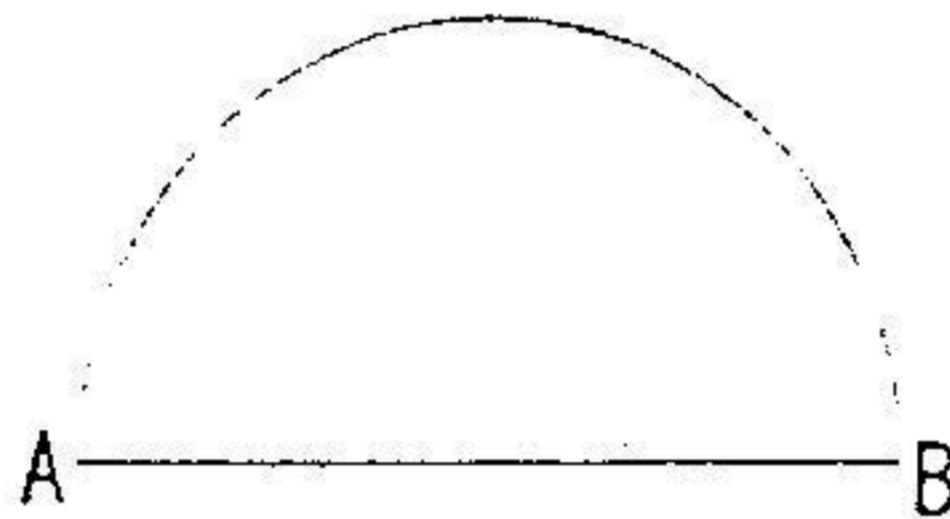
(30) 「重要なのは、結果を出したことだ」。得点でしか認められない点取り屋_____言葉だった。

- 1 まじきの 2 ならではの 3 かぎりの 4 ごときの

五、読解。次の(1)～(3)の文章を読んで、後の問いに答えなさい(30点)。

文章(1)

「いま直径をABとする半円がある。この半円の弧ABとその直径ABの長さを比較した場合、常に、半円弧ABの長さのほうが直径ABの長さよりも大きいことを証明しなさい」という問題があったとしてみましよう。いったい皆さんはこの問題をどのようにお考えになることでしょうか。



たぶん、そんなこと当たり前じゃないか、証明以前の問題だろうと思う人がほとんどなのではないでしょうか。それでもなお、「皆さんの気持ちはわかりますが、とにかく証明してみせてください」と迫られたとしたらどうでしょうか。「いくら数学嫌いの人間だってそのくらいの証明はできるさ、そんなこと簡単じゃないか!」と大半の人がお考えになるかもしれません。

円の直径よりも半円周のほうが長いことを具体的に示すには、市販の分度器と直線定規を利用する簡便法が考えられます。まず、直線定規の目盛りの一端に分度器の零度の目盛りのところを当て、直線定規にそって分度器を180度の目盛りのところまで転がしてやれば、分度器外縁の半円周部分のおよその長さが測定できます。次に分度器の零度の目盛りと180度の目盛りとを結ぶ線分(直径)の長さを同じ直線定規で測って両者の測定値を比較しさえすれば、誰の目にも半円周のほうが長いことは明らかでしょう。そんなことは幼稚園児にだってわかるという声が聞こえてもきそうです。

しかしながら、この実測による確認法は厳密な意味での数学的証明ではありません。数学の証明においては、大小を問わずどのような半円に関しても、一般的に半円周のほうが直径よりも長いということを論理的に示さなければならないからです。もちろん、①目盛り付きの直線定規や紐などのような長さを測るための道具を使うことは許されません。

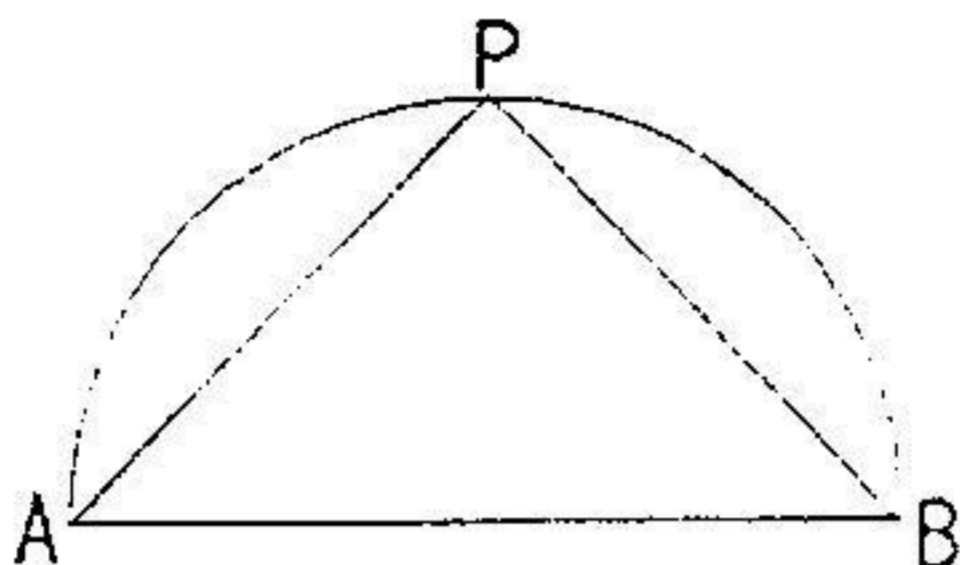
②論理的な証明を求められた場合、たいていの人々がまず考えるのは、半円弧ABの中点をPとし、二等辺三角形APBをつくってみることでしょう。そして、「辺APと辺BPの

南京大学 2007 年攻读硕士学位研究生入学考试试题(三小时)

考试科目名称及代码 基础日语 657

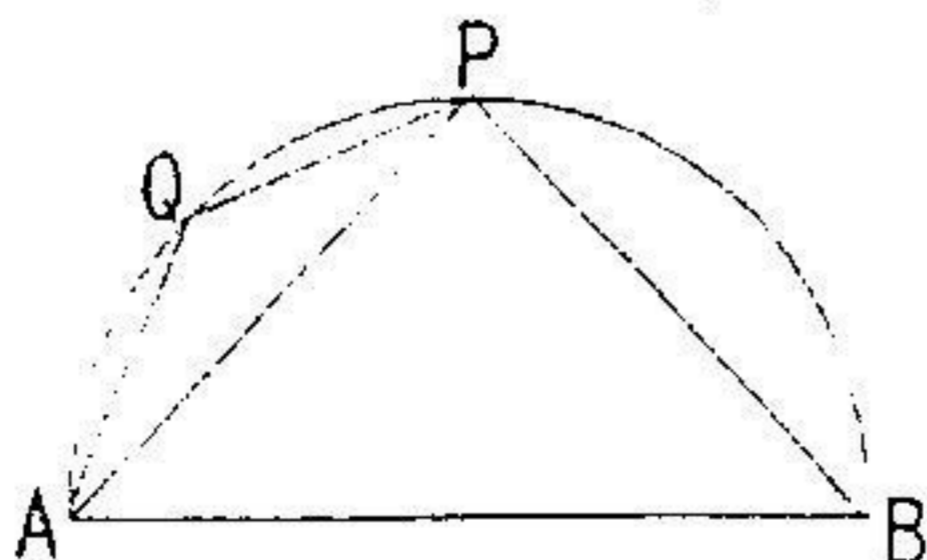
适用专业: 日语语言文学

和は二等辺三角形 APB の底辺 AB (半円の直径にあたっている) よりも大きいことは明らかである。また、辺 AP (弦 AP) より弧 AP は長く、同様に辺 BP (弦 BP) より弧 BP は長い。ところが、半円弧 AB は弧 AP と弧 BP の和であるから、半円弧 AB は辺 AP と辺 BP の和よりも大きい。ゆえに半円弧 AB は直径 AB よりも長い」といったような証明をひねり出すかもしれません。



実際にこれで証明が完了したと考えてよいのでしょうか。よくできましたと言いたいところなのですが、③ 「辺 AP (弦 AP) より弧 AP は長く、同様に辺 BP (弦 BP) より弧 BP は長い」と簡単に片付けてしまっていますが、どうしてそうなるかと断定できるのでしょうか。確かに、弓形において弧の長さのほうが弦の長さより大きいことは直観的には明らかなのですが、「直観的に明らかだ」では証明になりません。なによりもまず、そんな証明が許されるのであれば、冒頭の問題などは「半円弧 AB が直径 AB より長いのは直観により明らかである」ということで話は終わってしまいます。

そこで、前述の証明を確実なものにするためには、「辺 AP (弦 AP) より弧 AP は長く、同様に辺 BP (弦 BP) より弧 BP は長い」ことを論理的に証明しなければならないわけですが、実をいうと、この証明問題は最初の問題の焼きなおしにほかなりません。辺 AP (弦 AP) より弧 AP が長いことを証明するために弧 AP の中点を Q とし、二等辺三角形 AQP を考え、辺 AQ と辺 PQ の和が辺 AP より大きいことを示すところまではうまくいくのですが、そうすると次にまた「辺 AQ (弦 AQ) より弧 AQ は長く、辺 PQ (弦 PQ) より弧 PQ は長い」ことを証明しなければなりません。いくらやっても「入れ子構造」的に同じ問題が立ち現れ、無限にイタチゴッコが繰り返されていくだけなのです。



(中略)

いったいなぜこんな理不尽なことが起こるのでしょう。このような問題に遭遇し、困惑してしまったときには、はじめに提示された問題そのものの本質を熟考してみるのが大切です。意外なことに思われるかもしれませんが、冒頭に示した問題をできるだけ単純化し、骨格だけにしてみると、「曲線は直線よりも長いことを証明しなさい」ということになってしまうのです。

いったいぜんたい曲線が直線より長いことをどうやって証明したらよいのでしょうか。そもそもそんな証明をすることが可能なのでしょうか。④ 残念ながらそんなことは不可能な

のです。まだどうにも納得いかないという方々も少なくないことでしょうから、その理由をもうすこしわかりやすく述べてみることにしましょう。

曲率ゼロの理想平面上における平面幾何学では、「直線」とはその平面上の二点A、B間をつなぐ線群のうちで最短のものをいうと約束されています。このような約束ごとは「直線の定義」とも呼ばれます。どうやってそれが最短だと決めるのかはともかく、この定義(約束)にしたがえば、直線以外のものはみな曲線であるということになってしまいます。換言すれば、曲線ABとは二点A、Bを通る線群のうち直線AB以外の線群のすべてということになるわけです。そうだとすれば、「曲線は直線よりも長いことを証明しなさい」という問題は「直線でない線は直線よりも長いことを証明しなさい」というふう言い換えることが可能です。

ところが、直線の定義なるものはいま述べた通りですから、「曲線は直線よりも長いことを証明しなさい」という問題は、つまるところ、「平面上の二点A、B間をつなぐ線群のうちで最短のものでないものは、平面上の二点A、B間をつなぐ線群のうちで最短のものよりも長いことを証明しなさい」ということになってしまいます。これでは、「長いものは短いものよりも長いことを証明しなさい」と求められているのと同じにことになってしまいますが、もとよりそれは定義の問題ですから、そんなことなど証明のしようもありません。

ある概念の定義(その意味する内容の根本的な約束)を証明することはもともと不可能なのですが、定義というものがちょっと姿を変え、意地悪なかたちをとって我々の前に立ち現れると、その正体を見抜くことが難しくなり、なんらかの方法で証明できるのではないかという気分になってしまうのです。ある事柄が直観的にみて正しいということと、それを論理的に証明できるということは、実を言うとまったく別問題なのです。もちろん、現実には半円弧が直径より長いことを疑う人は誰もいないでしょうが、そのことを論理的に証明しようということになると、意外なことに誰も行き詰まってしまうのです。

論理の世界における根元的な定義というものは無条件でそれを信じ受け入れるしかありません。そのうえではじめて証明という行為は意味をもってくるのです。逆にいえば、そのあたりに証明という行為の限界があるとも考えられるわけなのです。もちろん、根元的な定義が直観的にみて信じられなかったり、ある状況下で論理の展開に不都合が生じたりする場合には根底にある定義そのものを一新するしかありません。この世のものごとはそれが正しいかぎりどんなことでも証明できるというのは実際には幻想にすぎません。根底的なところにある定義が正当であるか否か、適切であるか否かは、その人の直観的判断に依存せざるをえないわけで、もともとそのような定義の証明は不可能かつ無意味なことなのです。もっと突っ込んだ言い方をすれば、「正しい」という概念の定義自体が問題でもあるのです。

本田成親「半円弧は直径より長いことを証明せよ？」より

問1 筆者の出した問題は次のどれか。

- 1 直線 $AB <$ 半円弧 AB
- 2 直線 $AB >$ 半円弧 AB
- 3 直線 $AB =$ 半円弧 AB
- 4 直線 $AB \leq$ 半円弧 AB

問2 ①「目盛りつきの直線定規や紐などのような長さを測るための道具を使うことは許されません」とあるが、なぜか。

- 1 道具を用いる確認法は、手間がかかるから。
- 2 道具を用いる確認法は、小さい円を測ることができるが、大きい円を測ることができないから。
- 3 道具を用いる確認法は、厳密な意味での数学的証明ではないから。
- 4 道具を用いる確認法は、誤差が出やすいから。

南京大学 200) 年攻读硕士学位研究生入学考试试题(三小时)

考试科目名称及代码 基础日语 657

适用专业: 日语之语言学

問3 筆者が②の段落で挙げている証明法は次のどれか。

- 1 辺AP + 辺BP > 底辺AB
 辺AP (弦AP) < 弧AP
 辺BP (弦BP) < 弧BP
 半円弧AB = 弧AP + 弧BP
 半円弧AB > 辺AP + 辺BP
 半円弧AB > 直径AB
- 2 辺AP - 辺BP > 底辺AB
 辺AP (弦AP) < 弧AP
 辺BP (弦BP) < 弧BP
 半円弧AB = 弧AP - 弧BP
 半円弧AB > 辺AP + 辺BP
 半円弧AB > 直径AB

- 3 辺AP + 辺BP > 底辺AB
 辺AP (弦AP) < 弧AP
 辺BP (弦BP) > 弧BP
 半円弧AB = 弧AP + 弧BP
 半円弧AB > 辺AP - 辺BP
 半円弧AB > 直径AB

- 4 辺AP + 辺BP > 底辺AB
 辺AP (弦AP) < 弧AP
 辺BP (弦BP) < 弧BP
 半円弧AB < 弧AP + 弧BP
 半円弧AB > 辺AP + 辺BP
 半円弧AB > 直径AB

問4 ③に入る最も適当な文はどれか。

- 1 この証明には簡単な計算ミスがあるので
- 2 この証明には重要な発見があるので
- 3 この証明にはユニークな発想があるので
- 4 この証明には重大な欠陥があるので

問5 筆者が最初に示した問題を単純化すれば、次のどれになるか。

- 1 直線以外のものはみな曲線であることを証明しなさい。
- 2 長いものは短いものよりも長いことを証明しなさい。
- 3 曲線は直線よりも長いことを証明しなさい。
- 4 曲線は直線よりも短いことを証明しなさい。

問6 ④「残念ながらそんなことは不可能なのです」とあるが、それはなぜか。

- 1 もとよりそれはつまらない問題ですから、そんなことなどを証明してもしょうがない。
- 2 もとよりそれは定義の問題ですから、そんなことなど証明のしようもない。
- 3 計算がきわめて複雑で、高性能のスーパーコンピューターが必要となるから。
- 4 直観的にみて正しいであれば、それを証明する必要がないから。

問7 筆者は「定義」と「証明」についてどう言っているのか。

- 1 定義の証明はできないし、そうする意味もない。
- 2 定義の証明はできても、問題の解決にはつながらない。
- 3 定義の証明は不可能ではないが、科学者以外の人には無理だ。
- 4 定義の証明はできてからこそ、論理の世界がある。

63

文章 (2)

今年も大益牧雄さんが上京する季節がやってきた。

京都の丹後で漆器を作っているこの人は、2～3年に1度、12月に銀座で個展を開く。そこで作品を売って、次の個展までの収入を得、しばらく東京見物をしたあと一人暮らしの山の工房に帰ってゆく。

この季節は慌ただしいので11月に個展を開いてはくれまいかと冗談半分をお願いしたら、「だめだよ、11月は蕎麦の脱穀で忙しいんだから」と簡単に断られた。

彼は、人口5人という過疎の集落で、米や野菜、蕎麦を育てながらずっとひとりで暮らしている。今日も積雪が1.5メートルを超えたというので、アトリエの窓が雪で割れないか、遠方の住まいを①心配していた。私のような、なまっちよろい都市生活者には想像もつかないような真剣さで自然と向き合いながら暮らしているのだ。軽々しく「11月に」と言った自分が恥ずかしくなった。

山の一人暮らしというと、なにかおとぎ話のような生活を思いがちだが、実際、真冬に大益家に泊まった私は、言葉に表しがたい厳しい寒さにうちのめされて帰った記憶がある。

遅い山里の春、涼しい夏、紅葉に目を奪われるような収穫の秋はそれぞれ素晴らしかったが、雪に閉ざされる冬の寒気は想像をはるかに超えていた。パジャマの上にジーンズを穿き、靴下も二重履き。使い捨てカイロを3個、体に張り付けて寝た。やけどがこわくて、ふだんは到底そんな使い方はしないが、体の芯から冷え切っていてどうしようもなかったのだ。そうまでしても、眠りに落ちるのに1時間以上かかった。

平均積雪1メートルの山里で、囲炉裏と小さな電気ストーブひとつで暮らす大益さんが宇宙人に思えたほどだ。そんな人が小学校6年から成人するまで新宿育ちと聞いて、さらに驚愕。②に慣れるとはこのことか、人間ってすごいなあとしみじみ思ったものだ。

詩人であり、俳人でもある彼は友だちが多く、東京では毎日スケジュールがびっしり入っていた。前回に引き続き、1泊だけ我が家に泊まったが、翌日は人の個展に友達の見舞い、知人が開いた蕎麦屋、見たい映画がぎゅうぎゅうにつまっていた、どれをやめようかと悩んでいた。

そういう彼の人物や器、そして孤高の山の暮らしにひかれるのだろう、同世代の友だちが毎年、大勢、京都の自宅を訪れるらしい。先月は囲炉裏の部屋に7人泊まったのだという。肩書で言えば取締役社長、編集長クラスがずらりと並ぶ、団塊の世代だ。

深い雪のために町まで下りることさえできなかったあの冬の厳しさを知っているのに、その暮らしを③すてきというつもりはない。しかし、たとえば水道ではなく、瓶にわき水をためて大事に使い、自分で作った野菜で1年分の漬物を作り、自分が食べる分だけの米は自分で作り、木から器を作って売る。余分なものを持たないという暮らしぶりに学ぶことは多い。

多くのものを自分の手でつむいで暮らしている人の表情は、いつだって明るいし、自信に満ちていて、一切の愚痴がない。つまり、平たく言ってしまうと、本当に大益さんは楽しそうなのだ。

「自分に宿題がないと怠け者でやらないかもしれないからさ。毎年熊本で1回、銀座で2～3年に1回、個展を開くと決めている。だから秋から冬にかけては収穫と個展の準備で目の回るような忙しさなんだよ」と笑う。

そう言いながら、いつ会っても私よりはるかに多くの本を読み、映画を見、音楽を知っている。

仕事がたてこみ、個展ひとつに行く時間さえ捻出できないような、ばたばたと時間に追いかけられるようにして毎日を送っている私は、彼と話しながら心の中で④本当に豊かな生き方のありかたを考えあぐねていた。

多忙はときに人を傷つけるし、⑤過剰が喪失をよぶこともある。

南京大学 2007 年攻读硕士学位研究生入学考试试题(三小时)

考试科目名称及代码 基础日语 657

适用专业: 日语语言文学

ひょっとしたら、何年かに1度、1年の終わりのちょうど仕事に忙殺されそうな時期に彼と会えるのは、神さまがとりはからってくれているのかもしれない。

個展最終日に駆け付けたら、売り切れていたのので、一枚皿を注文した。こういう木で、塗りはこんな感じで、こんな大きさに。「はい、わかりましたー」。囲炉裏のすすでセピア色になったノートに、のんびり注文を書き付けていた。⑦いつごろになるかは聞かない。彼の暮らしのリズムにまかせて作った器が欲しいのだから。

問1 ①「心配していた」のは誰か。

- 1 大益さんの家族
- 2 人口5人という過疎の集落の人たち
- 3 大益牧雄さん自身
- 4 筆者

問2 ②に入る最も適切な言葉は何か。

- 1 山里 2 積雪 3 自然 4 環境

問3 ③に入る最も適切な言葉は何か。

- 1 無意味に 2 手放しに 3 大げさに 4 絶対に

問4 ④「本当に豊かな生き方」とあるが、それはどんな生き方か。

- 1 他の誰からも一切干渉されない勝手気ままな生き方。
- 2 余分なものを持たない質素な生き方。
- 3 少人数の村人とともに助け合いながら厳しい冬を乗り越える生き方。
- 4 自然とともに暮らしながら自分の大切なものを第一にする生き方。

問5 ⑤「過剰が喪失をよぶこと」の意味と同じ意味の例えはどれか。

- 1 仕事がいそがしすぎると時間に追われる。
- 2 お金がありすぎると何も欲しくなくなる。
- 3 過保護に育てた子供は親の言うことを聞かない。
- 4 近頃、過ちばかりして生きる意欲を失った。

問6 ⑦「いつごろになるかは聞かない」とあるが、それはどうしてか。

- 1 大益さんがのんびり注文を書き付けていたから。
- 2 すべて売切れてしまっていたから。
- 3 注文した皿の条件が多いから。
- 4 大益さんの仕事ぶりを知っているから。

文章(3)

一口でいえば、日本人は職人的気質の国民であり、中国人は商人的性格の国民である。職人は自分の仕事とか、仕事の出来栄えに対しては一家言を持っているが、それ以外のことについてはほとんど意見を吐かない。国際会議に出ている日本人の演説をきいて、日本人には主体性がないとか、自己主張がないという批判をよくきくが、職人に自己主張を期待するのは①ないものねだりであろう。職人は政治や外交についてはもともと関心がないし、意見もない。その代わりに自分の守備範囲内の物のつくり方やできあがった製品の完成度に関しては、仕事熱心なだけに一家言も二家言も持っている。

職人だから②でしゃばらない。何事も親方の意見を尊重する。国際舞台においても、同じことがいえる。その代わりに仕事の上ではよく勉強する。研究熱心である。同業者のやっていることにふだんから気をつけているし、人のやっていることでもこれはいいと思えば、すぐにも取り入れる。自分が工夫したことでも惜しまずに人に教えるし、会社の金儲けのために応用する。だから、料理人でも、大工でも、機械工でも、コンピュータ技術者でも、世間を驚かすような大発明は滅多にやらないけども、小さな改良や手直しを怠らないので、消費者が喜んでくれるような商品が次々と出てくる。

問1 ①「ないものねだり」とはどういう意味か。

- 1 ないものを人から謙虚に学び取ること。
- 2 ないものを工夫して作り出すこと。
- 3 ないものをむりに欲しがること。
- 4 ないものはなんでもよく見えること。

問2 ②「でしゃばらない」とはどういう意味か。

- 1 相手の力や権威に圧倒されたり、負い目があったりして、対等に振る舞えない。
- 2 関係のないことや求められてもいないことに、口を出したり、手を出したりしない。
- 3 口数が少ない。
- 4 考えや行動がしっかりしていない。

六、翻訳 (30点)

1. 次の短文を中国語に訳しなさい (15点)。

私は十数年前から毎年朝顔を植えている。それは花を見るためよりも葉が毒虫に刺されたときの薬になるので、絶やさないようにしている。蚊はもとよりムカデでも蜂でも非常によく利く。葉を三四枚、両の手のひらで暫く揉んでいると、ねっとりした汁が出てくる。それを葉と一緒に刺された個所に擦り付けると、痛みでも痒みでもすぐ止まり、あと、そこからいつまでも汁が出たりするようなことがない。

今年は東京の百貨店で買った幾種類かの朝顔の種を蒔いた。夏が近づくと、それらが四つ目垣に絡み始めた。反対の方に地面を這う蔓があると、私はそれを垣の方に戻してやった。

毎朝、起きると、出窓に胡坐をかいて、煙草をのみながら景色をながめる。そして又、すぐ眼の前の四つ目垣に咲いた朝顔を見る。私は朝顔をこれまで、それほど美しい花とは思っていなかった。私は朝顔の花のみずみずしい美しさに気づいた時、なぜか、不意に自分の少年時代を思いうかべた。

2. 次の短文を日本語に訳しなさい (15点)。

我特别羡慕那些习惯于总是在家里装饰鲜花的人。尽管他们没有穿着特别讲究的服装，没有吃着排场的饭菜，没有住着宽敞的房间，但我憧憬他们装点着鲜花的生活。这是因为地面上生长出来的花，对我算不了什么，可以说对于插花，我实在是太不擅长了。虽然那么说，但总是想方设法给自己那间缺乏风趣的房间布置一下。为此，我曾买过刚开花的和夹杂着待放的花蕾的蔷薇。插在花瓶里一看，虽然是狭窄的房间，但总感觉有花和没有花气氛大不一样。

七、作文 (30点)。

日本にも中国にも競争社会が厳しいという言い方がある。教育とは、子ども一人一人の可能性を十全に成長・発達させるための、古い世代の新しい世代に対する意図的な働きかけをいうといった教育の規定が、現代の「学校教育」やら「素質教育」やらの実態から離れた、空疎なことばみたいだ。自国の教育状況に触れながら、競争社会についての感想や意見を800字程度で書きなさい。